

「電気のふるさと」電源地域ニュース」では、電源地域のさまざまな取り組みを紹介しています。このコーナーでは、読者の皆様からお寄せいただいた「意見・要望」を積極的に誌面に反映させて参りますので、皆様の地域で取り組んでおられる事業や施策をどしどしお寄せください。巻末にご覧いただけます。活用ください。心よりお待ちしております。

徳島

夢づくりの町、勝浦町へようこそ！

～日本一のひな祭り、ビッグひな祭り～

徳島県 勝浦町

“清流に緑映え人輝くまち”勝浦町は、人口6,350人の小さな町ですが笑顔がたえない本当に温かなところですよ。

その勝浦町が誇る一大イベント「ビッグひな祭り」は、毎年3月3日を中心に15日間開催しており、全国から使われなくなったひな人形を譲っていただき、メインのピラミッド型ひな壇を中心に館内いっばいに約2万体を飾ります。また、周囲の特設ひな壇やその周辺には、手作りのおひな様を飾っています。さらに、壁面にはちぎり絵やジャンボ掛軸をずらりとかけ並べ、ひな祭りに関する文芸作品や大壁画、書写作品なども飾り、まさに日本一華麗な雛飾りになっています。



現在では、年間の入場者数4万人の一大イベントになっていますが、ここまでの道のりは決して楽なものではありませんでした。当初「ビッグひな祭り」は、町の夢づくりの一つとして町職員青年有志で組織する「ひな祭り実行委員会」が主催し、平成元年から第3回まで実施してきました。

しかし、第4回から予算と人出不足で実施が危ぶまれてきました。その時、勝浦町民の「勝浦町に定着しかけたイベントを無くしたくない」「今まで見に来てくれた人たちががっかりさせたくない。そして、なによりも子供たちの夢のために」の声で、まちおこしグループである「NPO法人阿波勝浦井戸端塾」が立ち上がりました。この時よりこの井戸端塾が実行委員会の中心となって活動を引っ張り、来年記念すべき第20回を迎えます。

ここまで、この一大イベントを成功させてこれた最大の要因はなんといっても実行委員のひたむきなボランティア精神と

町内外から集まったのべ約500人の力強いボランティアのおかげです。これらの熱意が広く住民を沸き立たせ、強力な集客力となって県内外からの移動人口が増加しました。

さらには、おひな様を中心とした交流の輪が、全国だけでなく全世界に広がってきました。たとえば、イギリスの小学校やアメリカ数カ所で開催されたジャパンウィーク^{*1}を始め、各国に多数のおひな様を贈り、おひな様を親善大使として国内外との交流を深めています。

最近では、毎年継続開催している「ビッグひな祭り」がマンネリ化しないよう、「ひな人形に贈る言葉」の募集・掲示や勝浦の伝統芸能である「勝浦座人形浄瑠璃」の上演など、毎回様々なアイデアを出しイベントを引き立てています。

そのほかにも勝浦町には「与川内ホテルまつり」「今山農村舞台^{*2}」など、たくさんの夢づくりがあります。皆さんも勝浦町に来て勝浦町の夢を体験してみませんか？

*1「ジャパンウィーク」とは、(財)国際親善協会が支援する国際文化交流事業で、日本の生活文化、芸能、美術、音楽、ファッション、スポーツ、経済等を通じて日本を紹介するとともに、開催地住民も参加し、相互理解・友好親善を図っています。
*2「農村舞台」とは、江戸時代頃から村人が歌舞伎や人形芝居を上演し楽しむため、各地に設けられた舞台です。今山地区では、今宮神社に残る農村舞台が地元の人たちの手によって、約70年ぶりに復元されました。



なんといっても圧巻は会場中央にそびえ立つピラミッド型のひな壇です。その高さは5.5メートルもあり、四方に各25段、合計100段のひな壇に約3,000体のひな人形を飾っています。

お問い合わせ先
勝浦町 産業建設課
TEL 0885-42-1505

鹿児島

「川内・甌とれたて市」で地域活性化へ

鹿児島県 薩摩川内市

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置しており、九州地方では筑後川に次ぐ第二の規模を誇る川内川が東シナ海へと注いでいます。また、薩摩半島の西方、東シナ海上には全長約35kmの甌島列島があり、東シナ海から吹く風と波によって作られた奇岩や断崖などが変化に飛んだ海岸線を作り出しています。さらには、西郷隆盛が足しげく通ったと言われ、泉質の良さから全国名湯百選に選ばれている「川内高城温泉」をはじめとする温泉が市内に点在しています。

このような様々な表情をもつ薩摩川内市は、平成16年の市町村合併によってできた新しい市で、合併当時は1市4町4村という自治体の数にあわせ、本土区域(薩摩川内)と島嶼部区域(甌)で互いに手を取り合い新しいまちを構成するという全国でも珍しい海越えの合併を行ったまちとして、話題を集めました。

翌年平成17年度には、ふるさとおこしの一環として、薩摩川内きやんせ海浜エネルギーフェスタ「薩摩川内・こしきお魚まつり」を開催し、「マグロ・カジキ重量当てクイズ及び解体ショー」や「魚のつかみ取り大会(ウナギ、カンパチ)」、「川内原子力発電所展示館見学ツアー」、「お楽しみ抽選会(水産加工品)」等の数多くのイベ



来場者でにぎわう鮮魚販売風景

ントを実施しました。会期中には市内外からたくさんの方が訪れ、好評を得ることができました。

そして、この「薩摩川内・こしきお魚まつり」の好評と、漁民や市民からの「フェスタだけではなく定期的な魚のイベントを開催してほしい」という要望に応えたのが「川内・甌とれたて市」です。平成18年度に川内市漁業協同組合と甌島漁業協同組合からなる実行委員会を立ち上げ、当日に両漁協で水揚げされた新鮮な鮮魚・活魚や水産加工品、農産物、特産品等の即売会を毎月1回のペースで開催することになりました。2時間という短時間での開催ですが、今では毎回1,500人を超える来場者で、活気ある市となっています。

「川内・甌とれたて市」の定期開催は、川内近海、甌近海の魚を広く市内外に広めることとなり、地産地消及び漁業の振興を図り、産業の振興と発展に大

きく寄与しています。さらには、継続的に開催することで、薩摩川内市のふるさとおこしの起爆剤として地域活性化につながるものと期待が高まっています。



大漁旗がはためく会場風景

お問い合わせ先
薩摩川内市 農林水産部
林務水産課 水産振興グループ
TEL 0996-23-5111

開催日：毎月第4土曜日に開催
(10月のみ、お魚まつり開催のため、お休み)
開催時間：4月～9月 15:00～17:00
11月～3月 14:00～16:00

いきいき電源地域

地域振興に取り組んでいる
電源地域の元気な姿を紹介します